※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	1＋2 単位	年次	2年次前期・後期
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）　一問一答世界史（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な資料や史料を読み解き、その時代の特質や他の地域とのつながりや共通性・異質性を理解してほしい。
・また歴史のタテ軸、すなわち各地域・各国史ごとにとらえる視点も重要である。歴史が単に事件の羅列ではなく、１つ１つつながって、全体像が見えるようになってほしい。

2　学習の到達目標

⑴世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
⑵世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
⑶世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第Ⅰ部諸地域の歴史的特質の形成	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアの東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の国家形成 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a:主に古代史における教科書に記載がある歴史用語（人名・地名・事件名など）を理解し、その知識を身につけている。 b:　主に古代史における歴史的事象を、資料の分析などを通じて、流れや因果関係を理解している。 c:　主に古代史における歴史的事象について、ノートやプリントの作成、自宅学習を踏まえた確認テストを通じて関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	提出ﾉｰﾄ 確認テスト 振り返りシート
後期	第Ⅱ部諸地域の交流・再編　第Ⅲ部諸地域の結合・変容　第Ⅳ部地球世界の課題	イスラーム教の伝播と西アジアの動向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 大交易･大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界	a:主に中世～近現代史における教科書に記載がある歴史用語（人名・地名・事件名など）を理解し、その知識を身につけている。 b:　主に中世～近現代史における歴史的事象を、資料の分析などを通じて、流れや因果関係を理解している。 c:　主に中世～近現代史における歴史的事象について、ノートやプリントの作成、自宅学習を踏まえた確認テストを通じて関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	提出ﾉｰﾄ 確認テスト 振り返りシート

表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度